

公共施設再編方針等見直し（案）

[短期検討分]

令和元年 9 月

魚津市公共施設再編推進室

1. はじめに

本市は、今後5年間の財源不足解消に向けた具体的な取組や目標額を定めた「財政健全化計画」を早期に策定することとしています。公共施設の維持管理費や施設整備費についても関連が深いことから、魚津市公共施設再編方針について見直しを行います。

また、再編方針の見直しにあわせて、各施設の使用料についても見直しを行います。

2. 再編方針見直しの内容及び視点

総量抑制、有効活用・適正管理、民間活力の活用の「再編の方向性」はそのままとし、第4章「公共施設の再編方針」の各施設の目標年度や再編方針を中心に見直しを行います。（詳細は別紙のとおり）

なお、中長期的に再編に取り組む施設の方針については、今年度末までに内容を整理することとしています。

3. 施設使用料の見直し

使用料の適正化については、来年度から新料金に変更するため、9月末までにガイドラインを作成し、年内に見直しを実施します。

(1) 使用料の算定及び見直しに関する実施方針

- ① 各施設において、統一的な計算方式により管理原価を算出します。
⇒住民福祉の増進を目的としているため、減価償却費を含めないで算出します。
- ② 行政サービスを性質別に分類し、受益者負担と公費負担の割合を明確にします。
- ③ 急激な市民負担の増加防止や近隣自治体との均衡を考慮し、緩和措置を講じます。
- ④ 社会的弱者への配慮を含め、減免制度の標準化、適正化を行います。
- ⑤ 定期的に料金を見直しを行います。
- ⑥ 一部、無料施設の有料化を行います。

(2) 施設の性質別分類例

高 ↑ 公的必要性 ↓ 低	公費負担 50% 受益者負担 50%	水族博物館	公費負担 75% 受益者負担 25%	埋没林博物館	公費負担 100% 受益者負担 0%	図書館 歴史民俗博物館
	公費負担 25% 受益者負担 75%	温水プール	公費負担 50% 受益者負担 50%	体育施設 学びの森	公費負担 75% 受益者負担 25%	
	公費負担 0% 受益者負担100%	トレーニング ルーム	公費負担 25% 受益者負担 75%		公費負担 50% 受益者負担 50%	
	高 ← 収益可能性 → 低					

公共施設再編方針の状況

【H26再編方針】

【～H30年度末実績】

【R1年度末】

【R2年度以降】

施設数 157	維持 104	<p>新設：4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者いきいきセンター ・経田駅前トイレ ・除雪機械格納庫 ・市民バス村木倉庫 		施設数 140	維持 建替	<ul style="list-style-type: none"> ・ありそドーム ・桃山運動公園 ・天神山野球場 ・埋没林博物館 ・水族博物館
	建替 機能移転 17	<p>建替：3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧本江小学校 → よつば小学校 ・旧住吉小学校 → 星の杜小学校 ・旧西布施公民館 → 西布施地域活性化センター 			民営化 ・ 民間 活力の 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プール ・新川学びの森
	廃止 36	<p>移転：3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片貝公民館 → 旧片貝小学校へ ・村木公民館 → 旧村木小学校へ ・教育センター → 旧村木小学校へ 			廃止 統合	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館 等
		<p>用途廃止：11（施設現存）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧大町小学校 ・旧上野方小学校 ・旧松倉小学校 ・旧上中島小学校 ・旧片貝公民館 ・旧村木公民館 ・旧こぼと児童センター ・旧片貝高齢者ふれあいの家 ・旧百楽荘 ・旧経田福祉センター ・旧西川原市営住宅 			跡地 12	<p>転用 ・ 有償 無償 譲渡</p> <p>詳細は別紙のとおり</p> <p>その他の施設は、 年度末までに方針を決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗博物館（他施設との複合化を検討） ・市庁舎 ・保育園 ・児童センター ・公民館 など
		<p>取壊：9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧経田幼稚園 ・旧魚津愛育園 ・旧経田高齢者ふれあいの家 ・旧西布施小学校 ・旧教育センター ・旧吉島市営住宅 ・旧吉島市営住宅団地集会場 ・旧慶野市営住宅 ・旧魚津駅西地区仮設住宅 				

公共施設再編方針の見直し（案）

No	施設名称	再編方針（現）			見直し（案）			備考	行財政改革推進委員会 及び2040会議の意見		
		目標 年度	方針	目標年度			方針				
				短期 ～R6	中期 ～R11	長期 ～R21					
1	総合体育館	H30	廃止	○老朽化が進み耐震性もないことから、小中学校や他の施設にある体育館の活用などを視野に入れ、 小学校の統廃合に合わせて廃止する。	R2末		廃止	○老朽化が進み耐震性もないことから、小中学校や他の施設に 設置されている 体育館の活用などを視野に入れ、廃止する。 ○跡地については、 民間への譲渡を含め、幅広く検討する。	ありそドーム、地区体育館（旧小学校体育館）等を一体的に管理運営することで、市全体の体育施設の効率的な運用を図り、総合体育館の利用者が活動する場所を確保する。	・2040会議の主な意見は廃止。 ・廃止の場合、代替が必要な主な機能は、高齢者健康づくり、学童健康づくり、部活動。地区体育館を代替施設として想定しているが、部活動で使うには、コート規格の問題もある。 ・プール、弓道場、グラウンドを含め、好環境の住宅地とすることを提言したい。	
2	温水プール	H30	建替	○老朽化が進み耐震性もないことから、平成30年度までに温水プールの建替えを行うこととし、耐震化は行わない。 ○温水プールの整備及び管理運営の手法については、民間活力の活用を視野に入れながら行う。			調査中		現在、国庫補助を受けてPFI導入可能性調査を実施中のため、存廃は調査結果を受けて判断する。（12月頃を予定） また、同調査においては、小学校のプールの在り方についても検討中。	・2040会議の主な意見は廃止。あった方が良いが、赤字を減らすためには止むを得ない。 ・廃止の場合、一般利用は民間や近隣自治体の施設で代替可能だが、教室やイベントが開催できない可能性がある。 ・建替える場合は、民間スポーツクラブによる運営を検討。 ・民間や小学校、近隣自治体にもプールがあるという状況で、もう一度作り、維持しますととっても本当にできるのか。 ・ミラージュプールに統合し、全天候型、体育とレジャーに対応できるプールとして整備してはどうか。	
3	弓道場	H30	維持	○隣接する総合体育館や温水プールの方針を踏まえ、 管理に支障のない場合は引き続き維持していく。	R6		廃止	○隣接する総合体育館や温水プールの方針に合わせ、 廃止する。 ○実施までの期間においては、 管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。 ○跡地については、 民間への譲渡を含め、幅広く検討する。	弓道場は、平成9年度に建てられた比較的新しい施設ではあるが、総合体育館等と一体的な跡地利用を進めるため、併せて廃止する。 また、廃止に向けて、広域利用の検討を進める。	・2040会議の主な意見は維持。理由は、魚津以東に類似施設がないため。（滑川や中新川にはある。） ・弓道協会による管理等を検討。	
4	吉田グラウンド	H30	維持	○隣接する総合体育館や温水プールの方針を踏まえ、 管理に支障のない場合は引き続き維持していく。	R6		廃止	○隣接する総合体育館や温水プールの方針に合わせ、 廃止する。 ○実施までの期間においては、 管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。 ○跡地については、 民間への譲渡を含め、幅広く検討する。		・2040会議の主な意見は廃止。 ・総体とプールが無くなる中、維持管理が困難であることから、一体的に跡地利用を進める必要がある。	
5	テクノスポーツドーム	H47	維持	○長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。			R21	維持	○長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。		・2040会議の主な意見は維持。 ・空き施設を活用してテナントを入れる。 ・運動以外のイベント利用の促進。 ・トレーニングジム等は、民間で手の届かないところを救い上げるような体制が必要。
6	魚津桃山運動公園	H47	維持	○長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。			R21	維持	○長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。		・2040会議の主な意見は維持。 ・ロケーションを活用した運営を検討。 ・イベント利用を促進。ただし、芝生などへの影響を考慮する必要がある。

No	施設名称	再編方針（現）			見直し（案）			備考	行財政改革推進委員会 及び2040会議の意見		
		目標 年度	方針	目標年度			方針				
				短期 ～R6	中期 ～R11	長期 ～R21					
7	天神山野球場	H47	維持	○施設の更新時期を見据え、必要最低限の施設を更新していく。			R21	維持	○長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。	・2040会議の主な意見は維持。 ・単独で見ると廃止も止むを得ないが、学びの森との関係性が非常に強いことを考慮すべき。 ・野球以外の競技の利用も促進。名称を「天神山運動場」としてはどうか。	
8	新川学びの森天神山交流館	H35	維持	○年間を通した稼働率が低い体育施設、宿泊施設及び食事施設は廃止する。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。	R2末			廃止	○現有機能の効率的な運営及び空き施設・敷地の有効活用を図るため、民間への譲渡や民間活力の活用を進める。 ○実施までの期間においては、管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。	現在、空き施設・敷地の利活用を推進するために、貸付先の事業者を募集する公募型プロポーザルを実施中（～8月2日まで）。 ・2040会議の主な意見は維持。 ・同等の機能を持つ施設が周辺に無いことから、使用料の適正化により維持が可能。 ・現在の方針である部分的な廃止は非効率的。 ・宿泊機能は維持すべきである。希少な施設であり、営利運営を突き詰めておらず、ポテンシャルを発揮していないことが問題。	
9	埋没林博物館	H47	維持	○中・長期的に組織強化及び施設の再編を図り、魚津の地形や富山湾の特性を活かした3館の事業を連携しながら、引き続き維持していく。 ○埋没林博物館は、特別天然記念物指定の関係から、既存の場所で平成26年度にリニューアルを行う。 ○水族博物館は、改修・改築、新築移転の検討を早急に進める。 ○歴史民俗博物館は、施設の更新時期を見据えながら、小学校跡地へ機能集約する。			R21	維持	○特別天然記念物指定の関係から、既存の場所で、長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。 ○管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。		・2040会議の主な意見は維持。 ・有料スペースへの誘導やその他の収入増を図る必要がある。
10	水族博物館										